

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年2月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第18期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社ヒップ |
| 【英訳名】 | H I P C O R P O R A T I O N |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 田中 吉武 |
| 【本店の所在の場所】 | 横浜市西区楠町8番地8 |
| 【電話番号】 | (045)328-1000 |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役総務経理担当 米山 正雄 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 横浜市西区楠町8番地8 |
| 【電話番号】 | (045)328-1000 |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役総務経理担当 米山 正雄 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第17期 第3四半期 累計期間 | 第18期 第3四半期 累計期間 | 第17期 |
|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日 | 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日 | 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
| 売上高(千円) | 2,942,393 | 3,088,009 | 3,952,898 |
| 経常利益(千円) | 158,984 | 184,200 | 208,799 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 82,269 | 114,486 | 101,023 |
| 持分法を適用した場合の投資利益 (千円) | - | - | - |
| 資本金(千円) | 377,525 | 377,525 | 377,525 |
| 発行済株式総数(株) | 39,753 | 39,753 | 39,753 |
| 純資産額(千円) | 1,323,121 | 1,408,658 | 1,341,875 |
| 総資産額(千円) | 2,784,469 | 2,909,129 | 2,848,436 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 2,069.52 | 2,879.94 | 2,541.28 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 1株当たり配当額(円) | - | - | 1,200 |
| 自己資本比率(%) | 47.5 | 48.4 | 47.1 |

| 回次 | 第17期 第3四半期 会計期間 | 第18期 第3四半期 会計期間 |
|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年10月1日 至平成23年12月31日 | 自平成24年10月1日 至平成24年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 394.85 | 1,064.95 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、景気に依然として停滞感がみられるなか、復興需要等に下支えされながら推移してきましたが、政権交代による期待から円高にも一服感が見られ、株価も上昇に転じるなど明るい材料も見られるようになってきました。

当社の経営環境においては、企業間による差はありますが、顧客メーカーの開発需要は概ね旺盛であり、依然として当社への受注は堅調に推移しております。特に自動車関連及び情報処理関連では期初からの好調を維持しております。また、当第3四半期においては、自動車、情報処理関連に加え、半導体製造装置関連への展開が進みました。

このような状況の中、平成24年10月には群馬県高崎市へ高崎営業所を新設し、営業及び採用体制の強化に努めるとともに、全社的な情報共有の強みを活かした営業を既存及び新規取引先へ展開いたしました。技術料金及び稼働時間につきましては、前年同期と比べ高い水準で推移しております。また、当第3四半期累計期間における稼働率は93.2%（稼働率(%) = 稼働技術者数/技術社員総数 * 100であり、期間の月末人数を累計した数値により算出しております。）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,088,009千円（前年同期比4.9%増）、売上原価は2,479,579千円（同3.0%増）、販売費及び一般管理費は445,159千円（同5.9%増）、営業利益は163,271千円（同43.6%増）、経常利益は184,200千円（同15.9%増）、税引前四半期純利益は182,932千円（同15.1%増）、四半期純利益は114,486千円（同39.2%増）となりました。

売上原価は、売上高の増加や利益率の向上により、売上に対する構成比率が80.3%（前年同期比1.6ポイント減）と減少いたしました。販売費及び一般管理費は、主に人材確保のための採用費や社内体制拡充のための福利厚生費が増加しましたが、売上高の増加の影響もあり、売上に対する構成比率は14.4%（前年同期比0.1ポイント増）となり、概ね前年と同水準で推移いたしました。

なお、当社の報告セグメントは単一であります。

(2)事業上及び財政上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 135,000 |
| 計 | 135,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---------------------|
| 普通株式 | 39,753 | 39,753 | 大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 当社は単元株制度は採用しておりません。 |
| 計 | 39,753 | 39,753 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数 (株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増減額 (千円) | 資本準備金残高 (千円) |
|----------------------------|-------------------|--------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成24年10月1日～ 平成24年12月31日 | - | 39,753 | - | 377,525 | - | 337,525 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|-------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | - | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 39,753 | 39,753 | - |
| 単元未満株式 | - | - | - |
| 発行済株式総数 | 39,753 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 39,753 | - |

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%） |
|------------|--------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| - | - | - | - | - | - |
| 計 | - | - | - | - | - |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

| 新役名 | 新職名 | 旧役名 | 旧職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|-------|--------|-------|--------|-------|-----------|
| 常務取締役 | 総務経理担当 | 常務取締役 | 営業企画部長 | 米山 正雄 | 平成24年7月1日 |
| 取締役 | 企画部 部長 | 取締役 | 事業本部長 | 廣瀬 透 | 平成24年7月1日 |

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社には子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日) |
|-----------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 704,600 | 792,803 |
| 受取手形及び売掛金 | 562,039 | 531,836 |
| 仕掛品 | 657 | 2,097 |
| 貯蔵品 | 58 | 50 |
| 前払費用 | 23,132 | 21,901 |
| 繰延税金資産 | 82,652 | 82,652 |
| その他 | 9,129 | 27,166 |
| 流動資産合計 | 1,382,269 | 1,458,508 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 381,511 | 369,731 |
| 構築物（純額） | 2,531 | 2,222 |
| 車両運搬具（純額） | 575 | 359 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 3,347 | 2,854 |
| 土地 | 968,009 | 968,059 |
| 有形固定資産合計 | 1,355,975 | 1,343,228 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 2,713 | 1,680 |
| 施設利用権 | 1,819 | 1,793 |
| 無形固定資産合計 | 4,533 | 3,474 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,000 | 7,000 |
| 長期前払費用 | 878 | 920 |
| 繰延税金資産 | 62,703 | 62,703 |
| 会員権 | 1,900 | 1,900 |
| 差入保証金 | 34,976 | 33,194 |
| 貸倒引当金 | 1,800 | 1,800 |
| 投資その他の資産合計 | 105,658 | 103,918 |
| 固定資産合計 | 1,466,166 | 1,450,621 |
| 資産合計 | 2,848,436 | 2,909,129 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 550,000 | 650,000 |
| 未払金 | 63,558 | 63,963 |
| 未払費用 | 291,386 | 301,159 |
| 未払法人税等 | 93,342 | 16,603 |
| 未払消費税等 | 36,440 | 34,975 |
| 預り金 | 27,647 | 33,617 |
| 賞与引当金 | 177,031 | 113,138 |
| その他 | 1,120 | 1,380 |
| 流動負債合計 | 1,240,526 | 1,214,837 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 178,676 | 191,247 |
| 役員退職慰労引当金 | 87,356 | 94,385 |
| 固定負債合計 | 266,033 | 285,633 |
| 負債合計 | 1,506,560 | 1,500,471 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 377,525 | 377,525 |
| 資本剰余金 | 337,525 | 337,525 |
| 利益剰余金 | 626,825 | 693,608 |
| 株主資本合計 | 1,341,875 | 1,408,658 |
| 純資産合計 | 1,341,875 | 1,408,658 |
| 負債純資産合計 | 2,848,436 | 2,909,129 |

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 2,942,393 | 3,088,009 |
| 売上原価 | 2,408,476 | 2,479,579 |
| 売上総利益 | 533,916 | 608,430 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 52,656 | 56,764 |
| 給料及び賞与 | 184,054 | 178,860 |
| 賞与引当金繰入額 | 20,843 | 22,444 |
| 退職給付引当金繰入額 | 1,004 | 1,366 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 6,978 | 7,475 |
| 法定福利費 | 29,955 | 30,544 |
| 採用費 | 8,692 | 15,043 |
| 旅費及び交通費 | 9,101 | 11,359 |
| 支払手数料 | 30,486 | 33,075 |
| 地代家賃 | 30,915 | 31,056 |
| 減価償却費 | 4,169 | 3,593 |
| その他 | 41,354 | 53,574 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 420,212 | 445,159 |
| 営業利益 | 113,703 | 163,271 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 91 | 97 |
| 受取配当金 | 100 | 100 |
| 受取手数料 | 1,267 | 1,317 |
| 助成金収入 | 46,718 | 21,898 |
| その他 | 3,573 | 2,406 |
| 営業外収益合計 | 51,750 | 25,819 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,470 | 4,863 |
| その他 | 0 | 26 |
| 営業外費用合計 | 6,470 | 4,890 |
| 経常利益 | 158,984 | 184,200 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 155 |
| 事務所移転費用 | - | 1,112 |
| 特別損失合計 | - | 1,268 |
| 税引前四半期純利益 | 158,984 | 182,932 |
| 法人税等 | 76,714 | 68,445 |
| 四半期純利益 | 82,269 | 114,486 |

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による損益の影響額は、軽微であります。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 16,616千円 | 14,863千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 39,753 | 1,000 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月30日 | 利益剰余金 |

当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 47,703 | 1,200 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月29日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

【セグメント情報】

当社は、アウトソーシング事業を営み顧客企業に技術サービスを提供しておりますが、その財務情報は全社を一体のものとして把握しており、経営者が定期的にレビューする事業は個別には存在しておりません。区分すべき事業セグメントが存在せず報告セグメントが単一であるため、セグメント情報に関する記載は省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 2,069円52銭 | 2,879円94銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 82,269 | 114,486 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 82,269 | 114,486 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 39,753 | 39,753 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社の買収)

当社は、平成25年1月23日開催の取締役会において、株式会社コスメックスの全株式を取得し、子会社化することを決議し、翌24日、株式譲渡契約を締結いたしました。当該契約に基づき、平成25年2月4日に同社の全株式を取得し、完全子会社といたしました。

(1) 株式取得の目的

当社はお客様の開発パートナーとして技術、設計、開発、生産技術部門等での機械設計、電子設計、ソフトウェア開発の技術サービスを提供するアウトソーシング事業を展開しております。

一方、株式会社コスメックスは、SMO (Site Management Organization: 治験施設支援機関) 業務に携わり、製薬会社が開発している新薬の臨床試験を実施する医療機関を支援する事業を行っております。

本件株式取得により、当社は、これまでの輸送用機械・電気電子機器・ソフトウェア等の製品開発・設計のプロフェッショナルとして提供している技術サービスに加えて、新薬開発過程における医療機関に対するプロフェッショナルな支援サービスを通して、今後特に成長が見込まれる医療・介護・健康増進等のヘルスケア分野へ進出いたします。今回の株式取得は、プロフェッショナル集団として質の高い高付加価値なサービスを展開していくことで、更なる企業価値向上並びに社会に貢献することを目指し、今後の中長期的な企業基盤の強化を目的と考えております。

(2) 株式取得の相手先の名称

アント・ケアビジネス2号投資事業有限責任組合
林 一郎

(3) 買収する会社の名称、事業内容

名称 株式会社コスメックス
事業内容 SMO事業(治験施設実施支援機関)

(4) 株式取得の時期

平成25年2月4日

(5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

| | |
|----------|-----------|
| 取得する株式の数 | 390株 |
| 取得価額 | 206,700千円 |
| 取得後の持分比率 | 100% |

(6) 支払資金の調達方法

自己資金

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月13日

株式会社ヒップ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安田 弘幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 毛利 篤雄 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヒップの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第18期事業年度の第3四半期会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヒップの平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、平成25年2月4日に株式会社コスメックスの全株式を取得し、完全子会社としている。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。